

階層別選択研修（共同）

研修名	中級【コミュニケーション分野】	受講者の声		
	自己表現力向上研修 ～アサーティブ・トレーニング～	アサーティブコミュニケーションは、様々な技術の組み合わせでスキルとして身に付けることができることがわかりました。この研修で学んだことを日常の中で実践して快適な職場づくりに取り組んでいきたいです。		
講師	(株) マネジメントサポート 出川 景子	期 間	2日間	
		会 場	自治人材開発センター	
		予 定 人 員	県30人・市町村30人	
ねらい	アサーティブの理論と技法（相手の立場を理解しつつ、自分の要望や提案を率直に、誠実に伝え、問題の解決を図っていく実践的なコミュニケーションの力、対人関係スキル）を学び、「率直に話し合いのできる関係づくり」ができる力を身に付けます。			
対象者	【県】 次のいずれかに該当する職員 ・平成31年4月1日以前に採用された主事・技師・主任級の職員 ・令和3年4月1日以前に採用された主事・技師・主任級の職員で、令和4年4月1日現在25歳以上の職員 【市町村】 主任級以下の職員			
実施日	① 7月21日（木）・22日（金）（県15人・市町村15人） ② 9月 1日（木）・ 2日（金）（県15人・市町村15人）			
手法	通所研修			
学 習 計 画				
日程	カリキュラム	時間数		内 容
		時	分	
1日 9:00 ～ 16:30	オリエンテーション	0	05	研修全般に関するオリエンテーション
	自己のコミュニケーションの傾向を知る コミュニケーションを豊かにする「話す力」 コミュニケーションを豊かにする「聴く力」	6	25	・交流分析による自己理解 ・期待に応えるための行動変容 ・わかりやすく説得力のある話し方 ・相手の理解と共感を得るための話法 ・積極的傾聴の意義と効果 ・質問話法の種類と実際
2日 9:00 ～ 16:30	アサーティブコミュニケーションの意義と効果	6	25	・3つのコミュニケーションスタイル ・職場でどう活かすか
	アサーティブコミュニケーション実践 （自己表現編） （他者受容編）			・自分の意思の確立 ・自分の意思の表明 ・他者の尊重 ・協働作業としての会話展開
	講義の振り返り等	0	05	質疑応答、アンケート記入等
備 考	・県職員と市町村職員との共同研修（市町村研修コード NO.117～118） ・全2回実施 ・研修効果確認レポートがあります。 ・県職員：人事委員会事務局が実施する主査級昇任試験の受験要件となる選択研修です。 ※参考：通信教育講座のコミュニケーション分野に関連する講座があります。			